
親と私

“ほっけちゃん”はあんまし美味しくない

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

親と私

【Nコード】

N2972K

【作者名】

“ほっけちゃん” はあんまし美味しくない

【あらすじ】

親に対するもやもやをぶつけてみました。

親に対しての思い

親って何にも分かってくれない。

よく知らないくせして、

全部知っているように話して、

叱って、

意味不明で、

ムカついて、

反抗して、

叱られて…………。

親って何にも知らない。

何にも分かってない。

子供の心情なんて、知ったこっちゃない。

絶対に親には、分からない。

私達子供の、心の痛みを。

怨みを。

憎しみを。

ちょっとしたことで、叱るって、

バカじゃない？

そんなにちよこちよこキレてたら、

もたないよ？イノチ。

イノチを粗末に扱っているのと同じだね。

私達の思っていることなんて、

知らないくせして、

よくもまあ、あんな大口が叩けるよね？

何にも知らないくせして。

最低。

ムカつく。

今の私の心は、

怨みと、

憎しみと、

苛立ちが

渦巻いている。

親って最低最悪。

今の時期は特にそう。

思春期ってそういうもん。

めんどくさい、

こんな時期。

別に要らないじゃん。

必要ないじゃん。

社会に出て、使う事ってある？

ないに決まってるじゃん。

本当に親って

イヤダ。

親になんか、なりたくない。

きっと自分の子供にも、そう思われるから。

最低最悪だから。

親の存在って、イマドキそういうもん。

思春期って？反抗期って？謎だらけ。

親って、何にも分かってない。

今の時期になると、親が

うっとおしい、

ウザイ、

うるさい、

黙れ

っと思うようになる。

私は今、その真っ只中を突っ走っている。

つまりは思春期。

親に反抗したくなる時期。

つまりは反抗期。

親がウザくて、うっとおしくて、嫌な存在と思う時期。

何も、分からないくせに、

知らないくせに、

分かっているような、

知っているような事を言う。

そこが嫌だ。

ウザイし、

しつこい。

そして、そう思う度、

『私は親孝行出来るのだろうか………』

と思う。

何で思春期ってあるんだろう？

謎が、いっぱい頭の中にある。

分かんない事だらけ。

人生って。

人って。

イライラするんだ(前書き)

今日はβデー。はどうでもいい。

親と学校でのイライラを書いてやったぜ。

文は下手だけど、頑張って見ろよW(笑)

イライラするんだ

イライラする。

イライラする。

やっぱり親は何にも分かってない。

何が『全部分かってる』だよ

何にも分かってないくせに。

親はやっぱり嘘つきだ。

嘘つき

嘘つき

ストレスが溜まりに溜まってくる。

学校で

家で

学校では、男子が。

隣の席の男子がムカついてくる。

しかも私の学年の男子が全員私を避ける。

別にいいけど。

小学生の頃から男子は嫌いだった。

中2になってより一層嫌いになった。

男子がウザイ。

最近『殺したい』、『死ねばいいのに』と思う。

男子なんて要らない。

殺したい

殺したい

家では家族が。

親が特に五月蠅い。

『あれしろ』『これやってて』。

ふざけんな。

イライラするんだよ。

ムカつくんだよ。

特に父親が。

『ご飯の準備して』

自分もやれよ。

『洗濯物畳んじよって』

テメエがやれよ。

『犬の散歩に行ってきた』

テメエ行けよ。そんなに行っていないじゃん。

自分は行かないくせに。

何なんだよ？

ふざけてんの？

お母さんが居なけりや全部私たちに任せるくせに。

どうせいつか私たちだって独立するんだ

自立するんだ。

いつまでもヒナじゃないんだよ。

いつまでも親元に居るってわけじゃないんだ。

突然事故で死んでしまうとか

いろいろあるんだ。

それが分からない、

馬鹿で

愚かで

頭ン中まだ子供な父親。

あれやれ、これやれの前に、父親は自立しろよ？
デメエ

これだから頭が良くっても馬鹿なままなんだよ。

いい加減自立しろよ？

私らの前でお母さんの愚痴溢すなよ。

ふざけんな。

ふざけんな。

何も分かってないくせして。

馬鹿じゃない？

親ってこういうところが馬鹿よね？

イライラするんだ（後書き）

今度はいつ投稿するだろうな。

まあ、詩は感じた時に書くから、いろいろと遅れがちになるけどな。

まあまた次回も見てくれ。

投稿するか知らねえけど。

a) やっぱり作者として礼儀がなってないから、心配だ……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2972k/>

親と私

2011年10月6日18時28分発行